私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。
園芸福祉ふくおかネット

ネット通信　花　便　り

No.38　（2015 年 12 月号）

＜ハンギングバスケットづくり研修を終えて　　舞鶴公園にて＞

目　次

９月からの主な活動の報告！	2
アイランドシティ中央公園で活動しています	4
介護の現場から園芸福祉を考える	5
福岡市立中央特別支援学校の花活動	6
憧れのスイス	7
事務局からのお知らせ	9
園芸福祉の庭のいま	10

９月からの主な活動の報告！

◇ グリッピキャンペーン２０１５が 10 月 17 日（土）・18 日（日）秋晴れの青空のもと舞鶴公園西側広場で開催されました。

園芸福祉ふくおかネットの出展は、ミニエコ鉢づくり体験、多肉の寄せ植え体験、種でお絵描き、緑の恵み、園芸福祉ショップ、花と緑の園芸相談コーナー、ハンギングバスケットでお出迎えなど盛り沢山の出展となりました。

会員が心を込めて作成したハンギングバスケットは、事前に舞鶴公園平和台陸上競技場前や明治通り、城内通りにポスター、チラシと一緒に展示して開催をアピールしました。また大濠公園から会場へのメインゲート前にお客様をお出迎えするウエルカムフラワーとして展示、多くの方々にお楽しみいただき、写真撮影もされていました。

ウエルカムフラワーとしてメインゲート前両側に展示

種でお絵描きは、素晴らしい作品が続出！

多肉植物の寄植えづくりは大人気！！

団体紹介と苔玉づくりデモンストレーション

ジャンケンゲームで苔玉プレゼント

◇ 県営春日公園からの依頼で、10 月 23 日３つのケア施設から高齢の利用者さんが来園され、６基の腰高花壇の植付けを楽しまれました。これの指導に会員７名があたりました。

110 歳の方も参加されていました！！

綺麗に出来たので達成感いーっぱいの指導員

◇ 10 月 29 日は、韓国の農業技術センターから１５名が研修に来られ園芸福祉についての講演依頼がありましたので、福岡県馬術競技場の会議室で園芸福祉活動などについて講演致しました。

◇ 11 月 4 日福岡市立特別支援学校「博多高等学園」での今年度最後の授業は苔玉づくり、黒瀬講師の説明を生徒さんがよく理解して、２個、３個と完成させました。生徒さんたちが「上手にできるようになった」、「楽しかった」と話す笑顔が印象的でした。

◇ 11 月 14 日は午前中に「勤マルの日」の事業を「園芸福祉の庭」で実施しました。今年の参加者は 15 名でした。子どもさんも 2 名参加されて、花壇の片付けやパンジーの植え付けなどを楽しまれました。皆さんで記念花壇を作って戴きました。

◇ 11 月 14 日午後から初級園芸福祉士養成講座を開講しました。受講者は 7 名、15 日、28 日、29 日の 4 日間の講座は欠

席者や事故などもなく、天候にも恵まれてモデルガーデンづくりもきれいに仕上がり、全講座を終えられ、黒瀬理事から修了証を授与されました。

◇ 12 月 1 日、福岡県 70 歳現役応援センターに「園芸福祉ふくおかネット」を団体登録をいたしました。これにより同センターのホームページに掲載されました。「70 歳現役応援センターは、高齢者が多様な活躍の機会を得られるよう、就業や社会参加を支援する総合拠点で、す。」詳しくは、http://www.70-f.net/：福岡県 70 歳現役応援センターを検索して下さい。

◇ 12 月 8 日午後福岡市立特別支援学校「博多高等学園」から依頼があり、プランターや道路の花壇へのチューリップの球根の植えつけ方、花菜の播種の指導に携わりました。生徒さんは丁寧に作業を進め、水やりまで終わらせることが出来ました。時期が少し遅れての作業ですが、きれいに咲いてくれることを願っています。先に蒔かれていた花菜はもう蕾を付けていました。

アイランドシティ中央公園で活動しています。

二俣　はるみ

平成２３年に福岡市緑のコーディネーター、及び市民の有志により『あいランド　はなの会』を立ち上げ現在、会員１２名で活動しています。

アイランドシティ中央公園には育苗の施設と花壇が整っており、花づくりを一から体験することができます。私はこれまで育苗の経験がなかったので勉強になると思い参加しました。土作り、種まき、苗の鉢上げ、苗の管理、育てた苗で花壇づくり、苗の販売などの活動をしています。最初は何もかもが新鮮で、この公園も心地よく、楽しく通っていました。

しかし、設備があってもその維持管理には相当の人員と努力が必要です。花壇も大小合わせて５，６か所あり月２回の作業では充分な管理はむつかしいです。近所に住むＮさんが率先して世話をしてくれることに感謝していますが、いつも人員不足を痛感しています。

春の花の鉢あげ

今年で５年、せっかくの設備があるのに生かし切れていないのはもったいない。

ハーブを中心の畑があり、ここにブルーベリーが２０本ほどありますが、これも生育が良くありません。これを何とかしたい。いずれは、アイランドシティ産のブルーベリーでジャムを作ってみたい。また、個人的に栽培したい花があるの

でそれも育ててみたい等、何とかしなくてはという思いが強くなってきました。

今年はハイビスカスローゼルが元気に育ち、会員に実を十分に配ることができました。　種もとれましたので来年も栽培します。ハイビスカスローゼルを育ててない方で苗や実、切り花を希望される方はご来園ください。

グリナリーセンターにて毎月、第１土曜日と第３水曜日（午前 10 時から 12 時まで）に作業しています。

作業の後はハーブティーとお菓子で賑やかに反省会をしています。興味を持たれた方は一緒に花を育ててみませんか。

介護の現場から園芸福祉を考える。

沖本　圓

訪問介護事業所で、正社員として働くようになって十か月が過ぎました。毎日が緊張の連続だった最初の頃に比べると、だいぶ落ち着いてきました。それでもいつ何が起こるかわからない、助けを必要とされている利用者の方々に向き合って安心安全な生活援助、身体援助を行うことが仕事ですから、言葉遣い一つから気を遣う毎日です。　生活援助のお掃除や、身体援助の入浴介助サービスなどでは体力も求められます。60 歳を節目に一から出直すつもりで、半年間実務研修を受け、今の職場、訪問介護事業所に正社員として雇っていただけたことは、とても幸運なことでした。失敗から学ぶことが許されていること、現場を任されること、そして自分の行動に責任をもってきちんと報告し連携をとることを要求される職場です。

自分の仕事の結果がダイレクトに表れるシビアな職業でもあります。スタッフの皆さんがそれぞれの現場で、シビアで緊張した時間を働いて戻る場として、事務所には笑顔の挨拶と沢山の植物があちこちに置かれていて、疲れて帰ってきたスタッフを温かく迎えてくれるホッとする空間になっています。

訪問介護では、それぞれの利用者の方のご自宅に伺って、介護サービスを行います。　広い庭のある一戸建ての家にいらっしゃる方もおられますし、公団アパートのベランダで園芸を楽しんでいらっしゃる方もおられますが、園芸作業のサービスは生活援助の項目に入っていません。もちろん身体援助ではありません。ですから、庭仕事を介護サービスとして行うことは出来ません。　介護サービスは介護保険から事業収入を得ている関係で保険点数にならないサービスを限られた時間の中で行う余裕はないのが実情です。ただし、利用者の方々のＱＯＬ（Quality of Life）「生活の質」の向上を図るという意味でコミュニケーションの一部として、アドバイスをしたり必要なものを買ってきたり（買い物サービスの範囲で）など出来る範囲で、お手伝いさせていただいています。　植物の好きな利用者の方とその方が育てておられる植物の話

利用者さんが育てられ
紅葉したポインセチア